

平成23年2月10日

各 位

会 社 名 株式会社フジックス
代 表 者 代表取締役社長 藤 井 一 郎
本社所在地 京都市北区平野宮本町5番地
コード番号 3600
上場取引所 大証第2部
問 合 せ 先 取締役管理部長 山 本 和 良
(電話番号) 075-463-8111

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年8月9日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正し、また、第3四半期累計期間において特別損失を計上することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(単位:百万円)

(1) 平成23年3月期通期 連結業績予想数値の修正 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	6,147	△97	△55	159	23円09銭
今回発表予想 (B)	5,976	△7	53	160	23円33銭
増減額 (B) - (A)	△171	90	108	1	
増減率 (%)	△2.8	—	—	1.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	4,799	△208	△209	△284	△41円22銭

(2) 平成23年3月期通期 個別業績予想数値の修正 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	3,763	△179	△79	279	40円59銭
今回発表予想 (B)	3,766	△120	△23	208	30円31銭
増減額 (B) - (A)	2	58	56	△70	
増減率 (%)	0.1	—	—	△25.3	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	3,650	△277	△219	△282	△40円95銭

(3) 修正の理由

連結

当第3四半期連結累計期間における縫い糸市場は、当累計期間前半にはアパレル業界の一部に回復の兆しを感じられ、これに比例して縫製業も受注の回復傾向が見られましたが、再び先行きが不透明になりつつあるほか、個人消費はまだら模様で、消費者の節約志向も依然根強く、国内の手芸分野は低調な状況が続きました。

これらの結果、通期における売上高は、前回発表の予想を若干下回る見込みとなりました。一方、営業利益および経常利益につきましては、工場操業度の上昇、経費の増加抑制など、第3四半期までの増益要因により、いずれも公表した予想値から改善する見込みとなりました。

また、当期純利益につきましては、営業利益および経常利益が改善されるものの、下記の通り新たな特別損失の計上もあることから、ほぼ公表した予想値通りの見込みとなりました。

個別

当第3四半期累計期間における売上高は、ほぼ前回発表通りの見込みであります。一方、営業利益および経常利益につきましては、工場操業度の上昇、経費の増加抑制など、第3四半期までの増益要因により、いずれも公表した予想値から改善する見込みとなりました。

また、当期純利益につきましては、営業利益および経常利益が改善されるものの、下記の通り新たな特別損失の計上もあることから、公表した予想を下回る見込みとなりました。

2. 特別損失の計上について

当第3四半期連結累計期間において、事業所の改築に伴って発生すると見込まれる損失122百万円を事業所改築関連損失として特別損失に計上いたします。

(注) 業績予想につきましては本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

以 上